

日本语 能力测试

1 级语法详解

彭 曦 汪丽影 赵 明 夏建新 方 萍 编著

● 百分百掌握

● 战力大提升

● 一考就上榜

华东理工大学出版社

日本语 能力测试 1级语法详解

彭 曦 汪丽影 赵 明 夏建新 方 萍 编著

● 百分百掌握

● 战力大提升

● 一考就上榜

华东理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本语能力测试 1 级语法详解/彭曦等编著. —上海: 华东理工大学出版社, 2006. 5(2007. 4 重印)

ISBN 978-7-5628-1865-6

I. 日... II. 彭... III. 日语-语法-水平考试-自学参考资料 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 022142 号

日本语能力测试 1 级语法详解

编 著/彭 曦 汪丽影 赵 明 夏建新 方 萍

责任编辑/王耀峰

封面设计/王晓迪

责任校对/徐 群

出版发行/华东理工大学出版社

地址: 上海市梅陇路 130 号, 200237

电话: (021)64250306(营销部)

传真: (021)64252707

网址: www.hdlgpress.com.cn

印 刷/江苏句容市排印厂

开 本/787 mm×960 mm 1/16

印 张/18

字 数/362 千字

版 次/2006 年 5 月第 1 版

印 次/2007 年 4 月第 2 次

印 数/8051-12070 册

书 号/ISBN 978-7-5628-1865-6/H·527

定 价/25.00 元

(本书如有印装质量问题, 请到出版社营销部调换。)

内 容 简 介

本书按照(日本)国际交流基金和日本国际教育协会编写的《日本语能力测试出题基准》改订版的要求,结合我国日语学习者的实际情况,对1级测试中要求掌握的语法知识以及1991年以来的真题进行了系统详细的讲解分析,并编写了十套模拟试题以供使用者练习。日语学习者使用本书,不仅能深入透彻地理解历年真题的出题意图,提高答题的正确率,而且还能系统地掌握日语的语法知识。

因此,本书不仅适合于日本语能力测试1级的应试者,同时对大学日语专业中高年级的学生以及中高级日语学习者来说也是一本必备的参考书。

前言

由日本国际教育协会主办的“日语能力测试”是衡量日语学习者学习水平的权威考试。该考试由(1)文字·词汇,(2)听力,(3)阅读·语法三个部分构成,总分400分,其中语法部分占100分。在1级考试中,各个部分的平均分数要达到70分,即总分要达到280分才能合格。

本书按照(日本)国际交流基金和日本国际教育协会编写的《日本语能力测试出题基准》改订版(凡人社,2002年)的要求,并结合我国日语学习者的实际情况,对1级测试中要求掌握的语法知识以及1991年以来的真题进行了系统详细的讲解分析。鉴于1级语法实际上是以句法为主,而一般的语法书往往将句法按功能分类,或按所接续的词语排列,因而常使得源于同一词语的句法被拆得七零八碎,极不便于学习掌握运用这一现状,本书采取了“以词法代句法”的编写方针,具体来说就是把源于同一词语的各种句法视为该词语的不同用法,以解析多义词方式来讲解句法。这样一来,句法不再是令人望而生畏的繁琐的东西,而变得简单易记。另外,为了让使用者检验自己的掌握情况,本书编写了10套模拟试题以供练习。日语学习者使用本书,不仅能深入透彻地理解历年真题的出题意图,提高答题的正确率,而且还能系统地掌握日语的语法知识。因此,本书不仅适合于日本语能力测试1级的应试者,同时对大学日语专业中高年级的学生以及中高级日语学习者来说也是一本必备的参考书。

本书由南京大学的彭曦、汪丽影,三江学院的赵明,扬州大学的夏建新,南京工业大学的方萍编著。华东理工大学出版社的王耀峰先生为本书的顺利出版提供了诸多方便,在此谨致谢意。

注:作者编写了1级语法最新试题讲解的Word文档,读者如需要请与编辑联系,mail: samwyf001@yahoo.com.cn。

编著者 于南京大学逸夫馆

目录

第一部分 日语语法基础知识

一、日语的词类	1
二、用言以及助动词的活用	3
三、授受关系	25
四、敬语	28
五、助词用法一览表	37

第二部分 句法说明及历年真题详解

1 【あいまって】	41
2 【あがる】	42
3 【あげる】	43
4 【あたる】	43
5 【ある】	44
6 【いう】	47
7 【いうまでもない】	52
8 【いえども】	52
9 【いかにも】	53
10 【いかん】	54
11 【いざしらず】	56
12 【いたる】	56
13 【一方】	58
14 【いられない】	60
15 【いわずもがな】	61
16 【うち】	62
17 【おく】	63
18 【おかげで】	66
19 【おして】	67
20 【思いきや】	67
21 【思うと/思ったら】	69
22 【及ばない/及ばず】	69
23 【おろか】	70
24 【か】	72
25 【かい】	73

26	【かえりみる】	74
27	【かかわらず】	74
28	【かかわる】	75
29	【かきる/かぎり/かぎって/かぎらない/かぎらず】	76
30	【かこつける】	79
31	【がたい】	79
32	【かたがた】	80
33	【かたくない】	80
34	【かたわら】	81
35	【がてら】	82
36	【かねない】	83
37	【から】	84
38	【からすると】	85
39	【からでないと】	86
40	【からには/からは】	86
41	【かわきり】	87
42	【かんする】	88
43	【きらいがある】	88
44	【きりがない】	89
45	【きれる/きれない/きれません】	90
46	【きわまりない】	90
47	【極まる】	91
48	【きわみ】	92
49	【禁じえない】	92
50	【くらい/ぐらい】	94
51	【くわえて】	96
52	【心を打たれる】	96
53	【こす】	97
54	【こそ】	98
55	【こと】	100
56	【ごとき/ごとく】	104
57	【こととて】	105
58	【こめて】	106
59	【最後】	106

60	【さえ】	108
61	【先立つ】	109
62	【差し支える】	109
63	【さることながら】	109
64	【ざるをえない】	111
65	【し】	112
66	【しか】	112
67	【じまい】	113
68	【しまつ】	113
69	【すえ】	114
70	【すぎない】	115
71	【ずくめ】	116
72	【すます】	117
73	【すむ】	117
74	【すら】	118
75	【する】	119
76	【相違ない】	121
77	【即する】	121
78	【そば】	122
79	【対する】	123
80	【たえない】	123
81	【だけ】	124
82	【たとえ/たとえ…でも/たとえ…でも】	126
83	【だに】	126
84	【ため】	127
85	【だらけ】	128
86	【たり】	129
87	【たりとも】	130
88	【たる】	132
89	【足る/足りる】	132
90	【つ】	133
91	【つい】	134
92	【つつ】	135
93	【って】	136

891	94	【つばい】	137
901	95	【つれて】	138
901	96	【であれ】	138
901	97	【であろうと】	139
111	98	【ては】	140
911	99	【てまえ】	141
911	100	【でも】	141
911	101	【といい】	142
911	102	【というところだ/といったところだ】	143
111	103	【といわず】	144
911	104	【同然】	145
911	105	【どうにも】	145
911	106	【ときたら/とくると】	146
911	107	【ところ】	147
911	108	【ところ(が)】	148
911	109	【どころか】	149
121	110	【ところで】	150
121	111	【どころではない/どころではなく】	151
921	112	【ところを】	152
921	113	【として】	152
921	114	【としても】	153
121	115	【とすれば/としたら】	154
921	116	【とたん(に)】	155
921	117	【とどまる】	155
921	118	【とは】	156
921	119	【とも】	157
921	120	【ともなく/ともなしに】	158
121	121	【ともなると/ともなれば】	159
121	122	【問わず】	161
121	123	【といえども】	162
121	124	【ないで】	162
121	125	【ながら/ながらも】	164
121	126	【ないことには/なくしては/なしに/なしには】	168
121	127	【なくはない】	171

128	【なら】	172
129	【ならでは】	173
130	【ならない/なりません/ならぬ/ならん】	175
131	【なり】	176
132	【なんて】	179
133	【なんという】	180
134	【なんの】	181
135	【にして】	181
136	【にしては】	183
137	【にしても】	183
138	【にせよ】	184
139	【ぬき】	185
140	【のみ】	185
141	【のみか】	187
142	【のみならず】	187
143	【ばかり】	188
144	【はじめ】	193
145	【はじめて】	193
146	【はず】	194
147	【はなし】	195
148	【はやい】	195
149	【反する】	196
150	【ひきかえ】	197
151	【ふう】	199
152	【ふまえる】	199
153	【べし】	200
154	【経る】	201
155	【ほか】	202
156	【ほど】	203
157	【まい】	204
158	【まじき】	206
159	【まし/まして】	207
160	【まで】	208
161	【まみれ】	214

162	【みせる】	215
163	【めく】	216
164	【めぐる】	216
165	【もって】	217
166	【もと】	219
167	【もの】	220
168	【ものなら】	222
169	【や】	223
170	【やまない】	225
171	【やら】	226
172	【ゆえに】	227
173	【よう】	228
174	【余儀ない】	229
175	【よそ】	231
176	【よる】	232
177	【わけ】	233
178	【わりに/わりと】	235

第三部分 模拟试题

模拟试题 1	236
模拟试题 2	239
模拟试题 3	243
模拟试题 4	247
模拟试题 5	250
模拟试题 6	254
模拟试题 7	257
模拟试题 8	261
模拟试题 9	264
模拟试题 10	268

模拟试题答案	272
--------------	-----

第一部分 日语语法基础知识

日语能力测试1、2级语法部分对用言、助动词的活用、授受关系以及敬语等方面的语法知识虽然没有什么特殊的要求,但这些内容在试题中随处可见。如果对这些知识没有一个系统的了解,想要提高答题的正确率是非常困难的。因此,本书在此部分首先对日语语法基础知识进行概括。使用者既可以先通读此部分,然后再去看各个句型,也可以在遇到疑难的时候进行参考。本部分内容如下:

一、日语的词类

二、用言以及助动词的活用

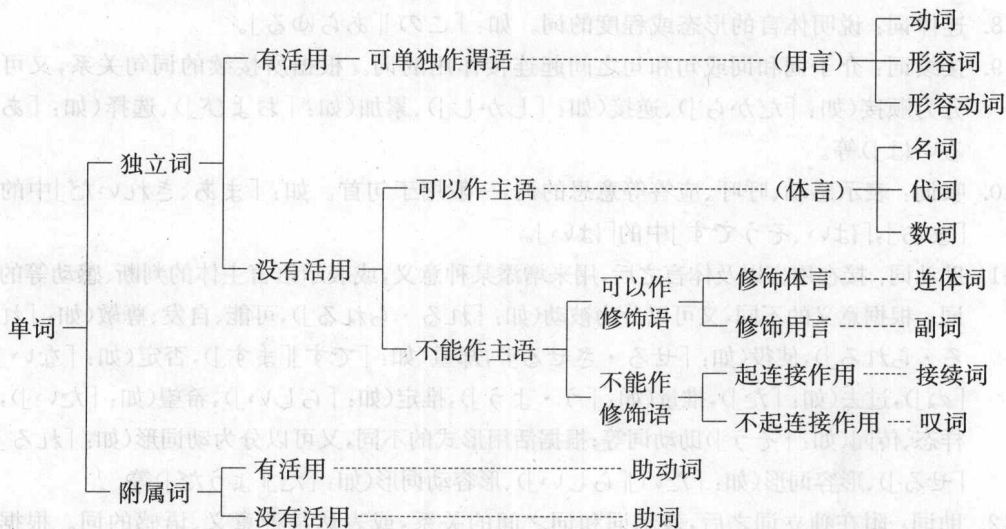
三、授受关系

四、敬语

五、助词用法一览表

一、日语的词类

日语中的词类称为“品词”,按其意义、形态和在句中的作用可分为以下12种:



根据旺文社编《标准国语辞典》(旺文社,1991年)附录6中的资料整理而成

各种品词的定义及作用如下:

1. 名词: 表示人以及事物名称的词。根据其表达的意思不同,又可分为固有名词(如:
「東京大学」^{とうきょうだいがく}「夏目漱石」^{なつめ そうせき})、普通名词(如:「山」^{やま}「犬」^{いぬ})、集合名词(如:「動物」^{どうぶつ}「果物」^{くだもの})、
抽象名词(如:「平和」^{へいわ}「愛」^{あい}「運動」^{うんどう})等。
2. 代词: 代替人以及事物的词。根据其表达的意思不同,又可分为人称代词(如:「わたし」^{われ}「あなた」^{かのじょ})、事物代词(如:「これ」^{これ}「それ」^{それ}「あれ」^{あれ})、场所代词(如:
「ここ」^{ここ}「そこ」^{そこ}「あそこ」^{あそこ})、方向代词(如:「こちら」^{こちら}「そちら」^{そちら}「あちら」^{あちら})、疑问代词
(如:「どれ」^{どれ}「どこ」^{どこ}「だれ」^{だれ}「どちら」^{どちら})。
3. 数词: 表示数量以及顺序的词。其中表示数量的为基数词(如:「一つ」^{ひとつ}「三人」^{さんにん})
「五冊」^{ごさつ},表示顺序的为序数词(如:「一番」^{いちばん}「二号」^{にこう}「第四」^{だいよん})。
4. 动词: 表示事物的存在、动作、作用或临时状态的词。按是否能够带宾语,可以分为
他动词(如:「飲む」^の「買う」^か)和自动词(如:「飛ぶ」^と「溢れる」^{あふ})。按活用规则的不同,可
以分为五段、上下一段、カ行变格、サ行变格动词。
5. 形容词: 说明人或事物的性质或状态的词。词尾全都为「い」(如:「暑い」^{あつ}「寒い」^{さむ})。
6. 形容词动词: 说明人或事物的性质或状态的词。其作用类似于形容词,而活用规则与
动词相同,因此被称为形容词动词。如:「真面目だ」^{まじめ}「立派だ」^{りっぱ}。
7. 副词: 说明用言的状态或程度的词。根据其表达的意思不同,又可分为情态副词
(如:「はっきり」^{はっきり})、程度副词(如:「ちょっと」^{ちょっと})、陈述副词(如:「決して」^{けつ})。
8. 连体词: 说明体言的形态或程度的词。如:「この」^{この}「あらゆる」^{あらゆる}。
9. 接续词: 介于词和词或句和句之间起连接作用的词。根据所接续的词句关系,又可
分为顺接(如:「だから」^{だから})、逆接(如:「しかし」^{しかし})、累加(如:「および」^{および})、选择(如:「ある
いは」^{あるいは})等。
10. 叹词: 表示感动、呼吁、应答等意思的词,一般用于句首。如:「まあ、きれいだ」中的
「まあ」,「はい、そうです」中的「はい」。
11. 助动词: 接在用言以及体言之后,用来增添某种意义,或表示语言主体的判断、感动等的
词。根据意义的不同,又可以分为被动(如:「れる・られる」^{れる・られる})、可能、自发、尊敬(如:「れ
る・られる」^{れる・られる})、使役(如:「せる・させる」^{せる・させる})、郑重(如:「です」「ます」^{です」「ます})、否定(如:「ない」^{ない})
「ぬ」^ぬ)、过去(如:「た」^た)、推量(如:「う・よう」^{う・よう})、推定(如:「らしい」^{らしい})、希望(如:「たい」^{たい})、
样态、传闻(如:「そう」^{そう})助动词等;根据活用形式的不同,又可以分为动词形(如:「れる」^{れる})
「せる」^{せる})、形容词形(如:「たい」^{たい}「らしい」^{らしい})、形容词动词形(如:「だ」^だ「ようだ」^{ようだ})等。
12. 助词: 附在独立词之后,表示词和词之间的关系,或表达某种意义、语感的词。根据
作用的不同,又可以分为格助词(如:「が」^が「を」^を「から」^{から})、接续助词(如:「ば」^ば「ても」^{ても})

「のに」)、并列助词(如:「と」「や」)、提示助词(如:「は」「も」)、副助词(如:「だけ」「など」「ばかり」)、终助词(如:「が」「ぜ」「わ」)。

另外,从单词的结构来看,还可以分为复合词(如:「登山靴」^{とさんくつ}「名高い」^{なだか})、接头词(如:「お」「総」)、接尾词(如:「くん」「たち」)等。

二、用言以及助动词的活用

日语中有词尾变化,并可以单独作谓语的词被称为用言。用言包括动词、形容词、形容动词3类。用言活用是指日语中的动词、形容词、形容动词的词尾变化。用言的活用变化只限于词尾,不发生变化的部分叫做词干。有些用言没有词干和词尾的区别,如「見る・寝る・来る・する」等。另外,助动词也有活用。活用的种类有6种,即未然形、连用形、终止形、连体形、假定形、命令形。

(1) 未然形。因用来表示事态尚未发生而得此名。在现代日语中一般后续助动词「ない」「れる・られる」「せる・させる」「う・よう」等;在古语中一般后续助动词「ば」以及助动词「ず」「む」「る・らる」「す・さす」「しむ」等。

(2) 连用形。因可以后续用言而得此名。既可以后续用言(如:「白く^{しろ}光る^{ひか}」中的「白く」),也可以后续助动词「た」「ます」「たい」、助词「て」「たり」「ながら」等表示各种意思,以及表示句子的中顿(如:「日が沈^ひみ^{しず}、月が出^{つき}た^で」中的「沈み」),另外还可以使用用言名词化(如:「休^{やす}み^{とお}く」)。

(3) 终止形。因可以单独结句而得此名。还可以后续助动词「そうだ」以及助词「と」「から」「けれど(も)」等。又可以称为“基本形”。

(4) 连体形。因可以单独修饰体言而得此名。还可以后续助动词「ようだ」以及助词「の」「ので」「くらい」等。动词、形容词的连体形与其终止形相同,形容动词则有所不同。

(5) 假定形。后续助动词「ば」可以表示假定的活用形。不过,形容动词的假定形常将「ば」省略。

(6) 命令形。可以单独结句,表示命令以及希望的活用形。只有动词才有命令形。

1 动词的活用

日语动词按照其形态和活用的规律可分为“五段活用动词”、“一段活用动词”、“サ行变格活用动词”、“カ行变格活用动词”。其中“一段活用动词”以“ウ段”假名为基准,根据其词尾倒数第二个假名所在段的位置,又可分为“上一段活用动词”(如:「できる」(能、会)等)和“下一段活用动词”(如:「出掛^{でか}ける」(出门)等)。所谓“变格活用”是指不规则的词尾变

化。“サ行变格活用动词”又简称为“サ变动词”，“力行变格活用动词”简称为“力变动词”。

动词的原形称为“基本形”，辞典上所列的动词词条就是基本形。动词的活用是根据其在句子中的用法及后续词来决定的。动词的活用形及其用法大致如下：

五段动词活用表

		五 段 動 詞								主要作用以及后 续助动词、助词	
	行 名	ア (ワ)	カ	ガ	サ	タ	ナ	バ	マ	ラ	
	基本形	買う	書く	泳ぐ	話す	待つ	死ぬ	遊ぶ	読む	乗る	
	词 干	買	書	泳	話	待	死	遊	読	乗	
活 用 形	未然形	わ	か	が	さ	た	な	ば	ま	ら	否定(ない・ず・ぬ);被动(れる);使役(せる)
		お	こ	ご	そ	と	の	ぼ	も	ろ	意志(う)
	连用形 「ます」形 「て・た」形	い	き	ぎ	し	ち	に	び	み	り	连接用言;构成敬语体(ます);用作名词
		っ	い	い	し	っ	ん	ん	ん	っ	中顿(て);简体过去式(た)
	终止形	う	く	ぐ	す	つ	ぬ	ぶ	む	る	结句
	连体形	う	く	ぐ	す	つ	ぬ	ぶ	む	る	连接体言或体言性词语
	假定形	え	け	げ	せ	て	ね	べ	め	れ	假定(ば)
	命令形	え	け	げ	せ	て	ね	べ	め	れ	命令

一段动词活用表

	一 段 动 词								主要作用以及后续 助动词、助词
	上 一 段				下 一 段				
基本形	居る	見る	起きる	落ちる	出る	得る	食べる	育てる	
词 干	(居)	(見)	起	落	(出)	(得)	食	育	

(续 表)

		一 段 动 词								主要作用以及后续 助动词、助词
		上 一 段				下 一 段				
活 用 形	未然形	い	み	き	ち	で	え	べ	て	否定(ない・ず・ぬ); 被动(られる);使役(さ せる);意志(よう)
	连用形	い	み	き	ち	で	え	べ	て	连接用言;敬语体(ま す);用 作 名 词;中 顿 (て);简体过去式(た)
	终止形	いる	みる	きる	ちる	でる	える	べる	てる	用于结句
	连体形	いる	みる	きる	ちる	でる	える	べる	てる	连接体言或体言性词语
	假定形	いれ	みれ	きれ	ちれ	でれ	えれ	べれ	てれ	假定(ば)
	命令形	いろ いよ	みろ みよ	きろ きよ	ちろ ちよ	でろ でよ	えろ えよ	べろ べよ	てろ てよ	命令

力・サ行变格动词活用表

		力行变格动词	サ行变格动词	主要作用以及后续助动词、助词
		来(く)る	為(す)る	
	基本形	来(く)る	為(す)る	
	词 干	来	為	
活 用 形	未然形	こ こ	さ・し・せ し	否定(ない・ず・ぬ);使役;被动; 意志(よう)
	连用形「ます」形 「て・た」形	き き	し し	连接用言;构成敬语体(ます) 用于中顿(て);构成简体过去式 (た)
	终止形	くる	する	用于结句
	连体形	くる	する	连接体言或体言性词语
	假定形	くれ	すれ	表示假定(ば)
	命令形	こい	しろ・せよ	表示命令

(1) 未然形

动词的未然形有很多用法,最常见的有后续「ない」表示否定;后续「なければならない」「なければいけない」「ねばならない」「ねばいけない」「なくてはならない」「なくてはいけない」等表示必须、必然、义务、强制等;后续「せる」「させる」表示使役;后续「れる・られる」表示被动、可能、尊敬、自发;还可后续「う・よう」表示推量或意志。例如:

① 表示否定

- ◎ 見る^みだけで買^かわない(只看不买)。
- ◎ 私^{わたし}は生^{なま}魚^{ぎな}を食^たべない(我不吃生鱼)。
- ◎ あの人^{ひと}が来^こないと思^{おも}います(我想他不会来了)。
- ◎ あの子^こは全^{ぜん}然^{ぜん}勉^{べん}強^{きょう}し^{ない}ない(那孩子根本就不学习)。

② 表示必须

- ◎ 君^{きみ}が行^いかなければい^けない(你必须去)。

③ 表示使役

- ◎ 学生^{がくせい}に作^{さく}文^{ぶん}を書^かせ^るる(让学生写作文)。
- ◎ 病^{びょう}人^{にん}に重^{おも}湯^ゆを食^たべ^させ^るる(给病人喂粥汤)。
- ◎ 弟^{でし}子^じを自^じ宅^{たく}に來^こさ^せて稽^{けい}古^こをつ^ける(让弟子到家里来练习)。
- ◎ 宿^{しゅく}題^{だい}を忘^{わす}れた生^{せい}徒^とを殘^{のこ}して勉^{べん}強^{きょう}さ^せる(把忘记写作业的学生留下来,让他们学习)。

④ 表示被动

- ◎ お金^{かね}を泥^{どろ}棒^{ぼう}にこ^{ぬす}っそり盗^{ぬす}ま^れた(钱被小偷偷得精光)。
- ◎ 友^{とも}達^{だち}に日^{にっ}記^きを見^みら^れた(日记被朋友看了)。
- ◎ 受^{じゅ}験^{けん}勉^{べん}強^{きょう}中^{ちゅう}、友^{とも}達^{だち}に來^こら^れた(正在考试复习,却来了朋友)。
- ◎ 警^{けい}察^{さつ}に監^{かん}視^しさ^れてい^るる(被警察监视着)。

⑤ 表示可能

- ◎ 英^{えい}語^ごが読^よま^れる(能看懂英语)。

注意: 五段动词后续表示可能的助动词「れる」时,一般都用约音,即将动词未然形「あ」段假名和「れ」约音成「え」段假名。如: (読^よむ→読^よま^れる→読^よめ^る)。

- ◎ 一^{いち}時^じほ^どの元^{げん}氣^きは見^みら^れない(看不到以前的锐气)。
- ◎ 明^あ日^す、用^{よう}事^じが^ある^ので來^こら^れない(明天我有事,来不了)。